

医学教育についてのアンケート

全日本医学生自治会連合（医学連）第30期中央執行委員長

信州大学医学部医学科4年 光武 鮎

昨年度は大学施設についてのアンケートへのご協力ありがとうございました。医学連では、アンケート結果を基に、文部科学省・厚生労働省をはじめ国や医学界に医学部生からの要望を伝えてきました。

今回は、全国医学部における近年の大幅なカリキュラム移行を受け、学生の意見調査をすることにしました。このアンケートの結果は統計処理を行った上で各団体との交渉の際に参考にさせていただきます。また、アンケート結果は各大学にもお返しする予定です。

このアンケートは匿名調査であるため、個人が特定されることはありません。また、集計はすべて学生が行い、大学への報告は統計処理済みのものを使用します。回答によって不利益を被ることはありませんのでご自由に記入してください。

I

あなた自身のことについてうかがいます。あなたの大学・学年・性別をお書きください。

()大学 ()年 性別 (男 ・ 女)

II

あなたの大学のカリキュラムに対してお答えください。質問①～⑧では、最も当てはまると思うものに○をしてください。その他の欄には思っていることをご自由にお書きください。

① 現在、日本の医学部ではカリキュラムが移行期にあります。これは¹ECFMGが打ち出した、いわゆる²「2023年問題」を受けて、「³世界水準の医学教育」に近づけるためと考えられますが、そのことを知っていますか？
1. 知っている 2. 知らない (詳細についてはアンケートの最後に記しています。)

② 上の①の質問で 知っている と答えた人は、何からそれを知りましたか？ひとつ選んでください。
1. 大学からのガイダンスなど 2. 新聞やニュース 5. 部活やサークルなどの課外活動
4. 医学連や自治会の広報 6. 実習先の病院など 6. その他 ()

③ “世界水準の医学教育”には、「カリキュラム作成への学生の参画」という項目が含まれています。特にこの項目について、あなたの大学の医学教育はどれくらい達成されていると思いますか？
(まったく達成されていない) [1 2 3 4] (十分に達成されている)

④ 今の医学教育によって、あなたが目指す医師・医学者像に近づけると感じますか？
(まったく近づけない) [1 2 3 4] (とても近づける)

⑤ 医学部入学時と比べて、あなたの医師・医学者を目指すモチベーションは変化しましたか？
(下がった) [1 2 3 4] (上がった)

⑥ ⑤の変化は大学における教育によるものでしたか？

1. はい 2. いいえ

(裏面の質問に進んでください)

⑦ 医学教育に対するあなたの満足度を教えてください。

(かなり不満) [1 2 3 4] (とても満足)

⑧ 学生生活で感じるストレスや不安の大きさを教えてください。

(ほとんどない) [1 2 3 4] (とても大きい)

⑨ 医学教育の改善が必要だと思うところはどこですか？ 以下の中から最大4つまで選んで、より改善が必要だと思うものから左から順にお書きください。 ⑧の具体的な原因なども併せてお考えください。

- a. ゆとりのないカリキュラム
- b. テスト数の多さ
- c. カリキュラムの急激な変化
- d. 進級判定の厳しさ
- e. 進級判定の不透明さ
- f. 長期的な目標設定の曖昧さ
- g. 教養教育の質の低さ
- h. 臨床実習の不備
- i. クラスの雰囲気
- j. 教員の指導意欲の低さ
- k. 学生の学力低下
- l. 高い学費や試験受験料など
- m. 学ぶ環境 (講義室, 図書館, 自習室など)
- o. その他 ()

1 番目	2 番目	3 番目	4 番目

III

医学教育を改善するにはどうすればよいと思いますか？ご自由にお書きください。

IV

アンケート・医学連に対するアドバイスをご自由にお書きください。

(参考) 以下は質問①についての詳しい内容です。

¹ECFMG(Educational Commission for Foreign Medical Graduates)は、アメリカ・カナダ以外の医学部出身者に対して、同国での医業を行う資格を審査する機関です。ここが、「2023年以降は医学教育の国際的な認証評価を受けている医学部出身者以外は(同国での)医業の資格を認めない」との通告を発表しました。これが²「2023年問題」です。これまで日本の医学教育には、“国際的な評価基準”が浸透していなかったために、それを導入しようとする動きが起きました。その際に採用されたのが世界医学教育連盟策定のグローバルスタンダードです。現在の医学部カリキュラムの移行は、これを満たした医学教育(³世界水準の医学教育)を目指すためのものです。

これは、今年7月に発行された【医学連新聞243号】の記事を再編したものです。医学連はこれからも医学生への情報発信と、社会・医学界に対する医学生の要求実現に努めていきます。是非、医学連新聞やホームページなどもご覧ください。ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ：全日本医学生自治会連合(医学連)

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-8 東京労音お茶の水センター1F

電話：03-5840-8263

FAX：03-3816-9266

mail：info@igakuren.com